

福知山市新文化ホール整備
基本構想・基本計画検討委員会
(第2回)

2022 (令和4) 年 8月23日 (火)

もくじ

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認
2. 市内及び近隣市町ホールの現状
3. 市民意見の収集状況 ヒアリング結果（中間報告）
4. 市民意見の収集状況 Webアンケート
5. 新文化ホールの役割（案）

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認

主な意見・確認事項など

- 基本構想、基本計画における検討事項において、ハードの視点が主で、ソフトの視点も検討が必要。
- 現状の課題はあくまでも現施設についての課題であり、将来の社会状況やニーズをふまえたものとして整理すべき。
- 稼働率が低い要因の分析が必要。（利用ニーズはあるものの、施設が対応できないケースもある）
- 近隣施設とのすみわけ・連携を検討すべき。（同じようなものを作ってもムダである）
- 近隣・類似施設とのすみわけ・連携の検討にあたっては、利用状況の分析が必要である。
- 本委員会は、厚生会館の再整備を前提として、検討をおこなう。

2. 市内及び近隣市町ホールの現状

市内及び近隣市町ホールの現状① 市内文化・交流施設



市内及び近隣市町ホールの現状② 市内文化・交流施設

	福知山市 厚生会館	ハピネス ふくちやま	市民交流プラザ 交流スペース	夜久野 ふれあいプラザ	大江町 総合会館	三和荘 多目的ホール
特徴	市民の文化、厚生、 産業等の向上及び 振興に寄与する ための施設	庁舎併設のホールと して、市関連他各種 発表のための施設	駅前の市民交流 活動の拠点施設	夜久野地域を中心 とした市民の 文化活動拠点	大江地域を中心 とした市民の 文化活動拠点	三和地域を中心 とした市民の 文化活動拠点
場所	字中ノ170の5	字内記100番地	駅前町400番地	字額田19-2	字河守285	字寺尾4
敷地面積	2,964㎡	14,693㎡	4,879㎡	2,877㎡	1,662㎡	2,300㎡
延床面積	3,763㎡	3,294㎡	6,426㎡	2,964㎡	1,543㎡	2,563㎡
室面積 (ホール)※1	446㎡	263㎡	197㎡	187㎡	446㎡	345㎡
建設年	昭和37年	昭和47年	平成26年	平成17年	昭和62年	平成17年
ホール 形式	平土間形式	劇場形式	平土間形式	平土間形式	平土間形式	平土間形式
客席数	1,002 (可動696、固定 306)	369(固定)	200(可動)	355(可動)	350(可動)	300(可動)
舞台	W17×D8×H6	W12×D6.5×H4.7	W6×D2.3	W13×D6×H5.5	W10.5×D7×H8	W8×D3.4×H5.4
ホール稼働率 (コマ)	27.8%	29.4%	63.9%	25.2%	20.0%	0.3%
管理運営	直営	直営	直営	直営	直営	直営
施設機能	会議室3 和室1 楽屋3	会議室	会議室 調理室 和室 図書館	研修室 調理室 和室 図書室	会議室 図書室	多目的ホール (室内4分割) ギャラリー
備考	平成13年大規模改修	平成27改修				

※1：ホールのための床面積

- 市内には厚生会館のほか、200席から369席までの小規模ホールが旧市内に2館、旧町内に3館立地。
- 固定席を有したホールはハピネスふくちやまホールのみ。
- 市民交流プラザと三和荘ホールは平土間に可動式のステージ、夜久野ふれあいプラザと大江町総合会館は稼働式の客席を備え、平土間と併用して使用可能。
- 旧町内の3施設は、いずれも旧町のメインホールで多様な活動に利用。
- これらの他に、中学校単位で地域公民館が設置されており、地域の文化交流活動の受け皿として機能している。

市内の主要ホール概要① 厚生会館

■特徴・位置付け 市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与するための施設

- 大ホール 市内最大のプロセニウム形式ホール、客席1階は平土間としての利用が可能
- ・主な用途 大会・式典・総会、展示会、音楽会・コンサート等
- ・主な利用 文化団体・学校、行政・各種団体、民間企業、NPO等
- ・稼働状況 日稼働率は約3割程度、中会場が大ホールと同程度の稼働率
- ・自主/貸館 貸館主体

施設概要		ホール		備考
施設形態	単独	名称	大ホール	○催事（本番）の利用者数は平均500人程度 ○稼働率は大ホールが最も高く、中会場が大ホールと同程度の稼働率 ○ホールでの主な事業（H30年度）※1 ・福知山スイーツフェスティバル2018（6,000人） ・第54回福知山私立学校（園）美術展（5,100人、2日計） ・福知山お城まつり（4,000人、2日計） ・第49回福知山私立小学校音楽祭（1,650人） ・第38回福知山市合唱祭（1,500人） ・文具フェア（1,300人） ・第28回文協フェスタ（1,300人） ・ふれあい福祉フェスタ（1,200人）
管理形態	直営	収容人数	1,002席	
建築年月	昭和 37 年	形式	プロセニウム形式	
構造・階数	R C ・ 4 階	舞台大きさ（m）	W17×D8×H6	
延床面積	3,763 ㎡	利用人数（H30年度）※1	49,706人	
耐震性	要耐震	利用日数（H30年度）※1	129日	○ホールの使用回数（使用人数別_H30年度）※1 ・1,000人以上 12（展示会等中心） ・900人以上999人以下 0 ・800人以上899人以下 6 ・700人以上799人以下 4 ・600人以上699人以下 4 ・500人以上599人以下 9 ・400人以上499人以下 7 ・300人以上399人以下 9 ・200人以上299人以下 11 ・199人以下 66
施設の構成	大ホール 楽屋 3 中会場 小会場 2 和室 控室 2	稼働率〔日〕※1	35.9%（コマ27.8%）	
		利用ジャンル ※1	（回数比）	
		・大会・式典・総会	31 %	
		・講演会	2 %	
		・演劇・演芸	3 %	
利用者数 （H30年度）※1	54,760人	・音楽会・コンサート	22 %	等
		・映画会	0 %	
		・日舞・洋舞	2 %	
		・展示会	28 %	
		・その他（練習など）	10 %	
利用者数 （H30年度）※1	54,760人	利用主体 ※1	（回数比）	※1 市データをもとに算出
		・行政・厚生会館	43 %	
		・公社・NPO・協会	16 %	
		・学校	16 %	
		・文化団体・教室	11 %	
利用者数 （H30年度）※1	54,760人	・企業・団体	14 %	

市内の主要ホール概要② ハピネスふくちやま

■特徴・位置付け 庁舎併設のホールとして、市関連他各種発表のための施設

■ホール 369席の固定席劇場形式多目的ホール

- ・主な用途 集会・講演会などイベント利用
- ・主な利用 市、文化協会、商工会議所など
- ・自主/貸館 自主活動が主体

■その他 会議室（現在使用不可）など

施設概要		ホール		備考
施設形態	単独	名称	ホール	○主な事業例 ・市役所仕事始め式 ・交通安全イベント ・商工会議所青年部向け講演会 ・福知山市避難のあり方推進シンポジウム ・福知山市文化祭チャリティアマチュア歌謡祭
管理形態	直営	収容人数	固定席 369席	
建築年月	昭和47 年	形式	プロセニウム形式	
構造・階数	RC・4 階	舞台大きさ (m)	W12×D6.5×H4.7	
延床面積	3,294 m ²	利用人数 (H30年度)※1	8,711人	
耐震性	耐震改修済み	利用コマ数 (H30年度)※1	317回	
施設の構成	ホール 会議室 6 室 和室 1 室 ほか	稼働率 (コマ)	29.4%	
		利用ジャンル ・会議 ・集会・講演会 ・音楽会 ・その他 (練習など)	0% 72% 19% 9%	
利用者数 (H30年度) ※1	—	利用主体 ・市 (市主催) ・一般 ・その他	76% 21% 3%	

※1 市データをもとに算出

市内の主要ホール概要③ 市民交流プラザ（中央公民館）

■ 特徴・位置付け **市民文化の向上及び福祉の増進を目的とした駅前の市民交流活動の拠点施設**
 まちと人、人と人をつなぐ交流空間を目的とした図書館・中央公民館・北京都ジョブパークなどの機能を併せ持つ複合施設（中央公民館は4階）

■ ほっとステージ 可動客席の平土間ホール
 ・ 主な用途 講演会、交流イベント、展示会など
 ・ 稼働状況 コマ稼働率が6割強

■ その他 施設全体的として稼働率は高いが、和室と調理室の稼働率は低い傾向

施設概要		ホール		備考																							
施設形態	複合（図書館等）	名称	市民交流スペース	○仮設舞台の設置はあるが、演劇や音楽に利用するには適さないため、イベントや展示が中心 ○市民交流スペースはクラシックには不向きで、吹奏楽には狭い。ピアノ設置はあり。 ○諸室利用状況（H30年度）※1																							
管理形態	直営	収容人数	200席																								
建築年月	平成 26 年	形式	平土間																								
構造・階数	RC・4 階	舞台大きさ（m）	W6×D2.3																								
延床面積	6388㎡	利用人数（H30年度）※1	44,720人																								
耐震性	新耐震基準	利用件数（H29年度）※1	629件	<table><thead><tr><th></th><th>人数</th><th>稼働率</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ギャラリー</td><td>22,304人</td><td>70.8%</td></tr><tr><td>・視聴覚室</td><td>21,812人</td><td>64.8%</td></tr><tr><td>・会議室 3－1</td><td>9,192人</td><td>76.3%</td></tr><tr><td>・会議室 3－2</td><td>17,436人</td><td>70.0%</td></tr><tr><td>・会議室 3－3</td><td>15,771人</td><td>75.0%</td></tr></tbody></table>				人数	稼働率	・ギャラリー	22,304人	70.8%	・視聴覚室	21,812人	64.8%	・会議室 3－1	9,192人	76.3%	・会議室 3－2	17,436人	70.0%	・会議室 3－3	15,771人	75.0%			
	人数	稼働率																									
・ギャラリー	22,304人	70.8%																									
・視聴覚室	21,812人	64.8%																									
・会議室 3－1	9,192人	76.3%																									
・会議室 3－2	17,436人	70.0%																									
・会議室 3－3	15,771人	75.0%																									
施設の構成	市民交流スペース ギャラリー 視聴覚室 会議室 3 〈中央公民館〉 アトリエ 会議室 2 和室 2 クッキングルーム	稼働率〔コマ〕 ※1	63.9%	<table><thead><tr><th>〈中央公民館〉</th><th>人数</th><th>稼働率</th></tr></thead><tbody><tr><td>・和室（けやき）</td><td>3,763人</td><td>24.3%</td></tr><tr><td>・和室（うぐいす）</td><td>4,009人</td><td>33.7%</td></tr><tr><td>・アトリエ</td><td>5,287人</td><td>28.8%</td></tr><tr><td>・クッキングルーム</td><td>4,619人</td><td>28.0%</td></tr><tr><td>・会議室 4－1</td><td>12,448人</td><td>63.9%</td></tr><tr><td>・会議室 4－2</td><td>11,191人</td><td>77.2%</td></tr></tbody></table>			〈中央公民館〉	人数	稼働率	・和室（けやき）	3,763人	24.3%	・和室（うぐいす）	4,009人	33.7%	・アトリエ	5,287人	28.8%	・クッキングルーム	4,619人	28.0%	・会議室 4－1	12,448人	63.9%	・会議室 4－2	11,191人	77.2%
		〈中央公民館〉	人数				稼働率																				
・和室（けやき）	3,763人	24.3%																									
・和室（うぐいす）	4,009人	33.7%																									
・アトリエ	5,287人	28.8%																									
・クッキングルーム	4,619人	28.0%																									
・会議室 4－1	12,448人	63.9%																									
・会議室 4－2	11,191人	77.2%																									
		利用ジャンル ※2	—																								
利用者数 （H30年度） ※ 1	172,552人	利用主体 ※ 2	—																								

※1 市データをもとに算出

※1 市データをもとに算出

市内の主要ホール概要④ 夜久野ふれあいプラザ

- 特徴・位置付け **夜久野地域を中心とした市民の文化活動拠点**
公演・大会・式典等に対応する地域の文化拠点
- 文化ホール 可動客席を備えた平土間利用も可能な多目的施設
 - ・主な用途 音楽等の演奏会、大会・式典・講演会等
 - ・主な利用 地元文化団体、学校など
- その他 図書室、福祉保健センターなど併設

施設概要		ホール		備考
施設形態	複合（福祉保健センターなど）	名称	文化ホール	○主な事業例 ・市民による第九演奏会 ・きょうと北部演劇まつり ・地元学校や団体の音楽発表 ○ホールには音響反射板あり ○ピアノ備品あり  
管理形態	直営	収容人数	335席	
建築年月	平成17年	形式	平土間（可動席）	
構造・階数	RC・1階	舞台大きさ（m）	W13×D6×H5.5	
延床面積	2,964 m ²	利用人数（H30年度）※1	9,856人	
耐震性	新耐震基準	利用回数（H30年度）	272回	
施設の構成	ホール 研修室 2 調理室 控室兼会議室 控室兼相談室 控室兼和室 和室 図書室	稼働率（コマ）	25.2%	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他（練習など）	—	
利用者数（H30年度）	—	利用主体	—	※1 市データをもとに算出

市内の主要ホール概要⑤ 大江町総合会館

- 位置付け 大江地域を中心とした市民の文化活動拠点
- ホール 可動客席を備えた平土間利用も可能な多目的施設
 - ・ 主な用途 映画上映会や集会、地元文化団体の発表会など
 - ・ 主な利用 地元文化団体、学校など

施設概要		ホール		備考
施設形態	単独	名称	イベントホール	○主な事業例 ・ まちづくり住民協議会 ・ 鬼力の由良川夏祭り映画上映会 ・ きょうと児童青少年演劇 ・ 鬼シンポジウムin福知山 ○H30は7月豪雨による浸水被害のため7月から利用できない状態であった
管理形態	直営	収容人数	350席	
建築年月	昭和62年	形式	平土間（可動席）	
構造・階数	RC造2階	舞台大きさ（m）	W10.5×D7×H8	
延床面積	1,543㎡	利用人数H30年度）※1	4,002人	
耐震性	新耐震基準	利用回数（H30年度）	60回	
施設の構成	会議室 図書室	稼働率（コマ）	20.0%	
		利用ジャンル ・ 大会・式典・総会 ・ 講演会 ・ 演劇・演芸 ・ 音楽会・コンサート ・ 映画会 ・ 日舞・洋舞 ・ その他（練習など）	—	
利用者数 （H30年度）	10,502人	利用主体	—	

※1 市データより

市内の主要ホール概要⑥ 三和荘多目的ホール

■位置付け 三和地域を中心とした市民の文化活動拠点

■ホール 可動席の多目的ホール

・主な用途/利用 音楽発表会、クラブやサークルの合宿、企業や団体の研修

※宿泊利用は現在休止中

施設概要		ホール		備考
施設形態	複合（宿泊、スポーツ施設）	名称	多目的ホール	○主な事業例 ・NPO法人総会 ○可動式舞台、照明音響設備、スクリーン（固定・移動）、プロジェクターあり、中型グランドピアノあり
管理形態	直営	収容人数	300席	
建築年月	平成17年	形式	平土間（可動席）	
構造・階数	RC造2階	舞台大きさ（m）	W8×D3.4×H5.4	
延床面積	2,563㎡	利用人数（H30年度）※1	—	
耐震性	新耐震基準	利用回数（H30年度）	9回	
施設の構成	多目的ホール ギャラリー スポーツ施設	稼働率（コマ）	0.3% ※1	
		利用ジャンル ・大会・式典・総会 ・講演会 ・演劇・演芸 ・音楽会・コンサート ・映画会 ・日舞・洋舞 ・その他（練習など）	—	
利用者数 （H30年度）		利用主体	—	

※1 全室（4/4に分割可）使用＋舞台使用のみ

利用率・事業例から見た市内主要ホールの特徴・位置付け

各施設とも集会や文化活動の発表等に利用されているが、全市を対象とした大規模な行事や鑑賞事業は厚生会館が担っている

施設	特徴・現状の位置付け	鑑賞	発表	練習等	展示等	大会式典 講演会等	備考
福知山市厚生会館	市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与するための施設 コンサート、展示、集会利用が大半	○	○	○	◎	◎	会議室等の諸室を併設し、展示や会議等に利用
市民交流プラザ	市民文化の向上、福祉の増進が目的 ホール、図書館、中央公民館等により構成される、駅前の市民交流活動の拠点施設	△	○	○	○	◎	高校生など地域の人の居場所
ハピネスふくちやま	庁舎併設の多目的ホールとして、市関連の各種集会に活用	△	○	○	△	◎	行事主体 会議利用多数 一部市民利用
夜久野ふれあいプラザ	夜久野地域を中心とした市民の文化活動拠点	△	○	○	○	○	音楽利用あり
大江町総合会館	大江地域を中心とした市民の文化活動拠点	△	○	○	○	○	
三和荘多目的ホール	宿泊施設併設の、地元住民も利用可能なイベントホール	△	○	○	△	○	

※：鑑賞：演奏会や芝居等、発表：各種文化活動等の発表会、練習等：各種練習活動、
展示等：絵画や書道等の作品展示、大会式典講演会等：各種式典・研修会等含む

◎：利用率の高い事業 ○：利用の確認ができた事業 △利用の確認ができず利用が少ないと思われる事業

ハード面での市内主要ホールの対応可能な用途

舞台の広さ、客席形状などから、各施設内ホールの用途との対応を以下に整理する。
市内施設の大半が平土間で、様々な活動の練習、展示やパーティ、椅子を並べての集会や各種鑑賞等に対応する。一方、良好な環境での鑑賞、発表に対応する施設は十分とは言えない。

		鑑賞・発表			練習 等	展示・ 物販・ パー ティー	大会 式典 講演会 等	備考
		クラシッ ク	ダンス 演劇・ 古典芸能	ポップス				
福知山市厚生会館	1,002席 平土間	△	△	○	○	○	○	展示等の用途 に適する
市民交流プラザ	200席 平土間	△	△	△	○	○	○	練習、会議等
ハピネス ふくちやま	369席 固定席	△	△	○	○	×	○	市内唯一の 全席固定席
夜久野ふれあい プラザ	335席 平土間	△	△	○	○	○	○	平土間可動席
大江町総合会館	350席 平土間	△	△	○	○	○	○	平土間可動席
三和荘多目的 ホール	300席 平土間	△	△	△	○	○	○	宿泊施設併設

○：利用に適している △：対応可能 ×：不適

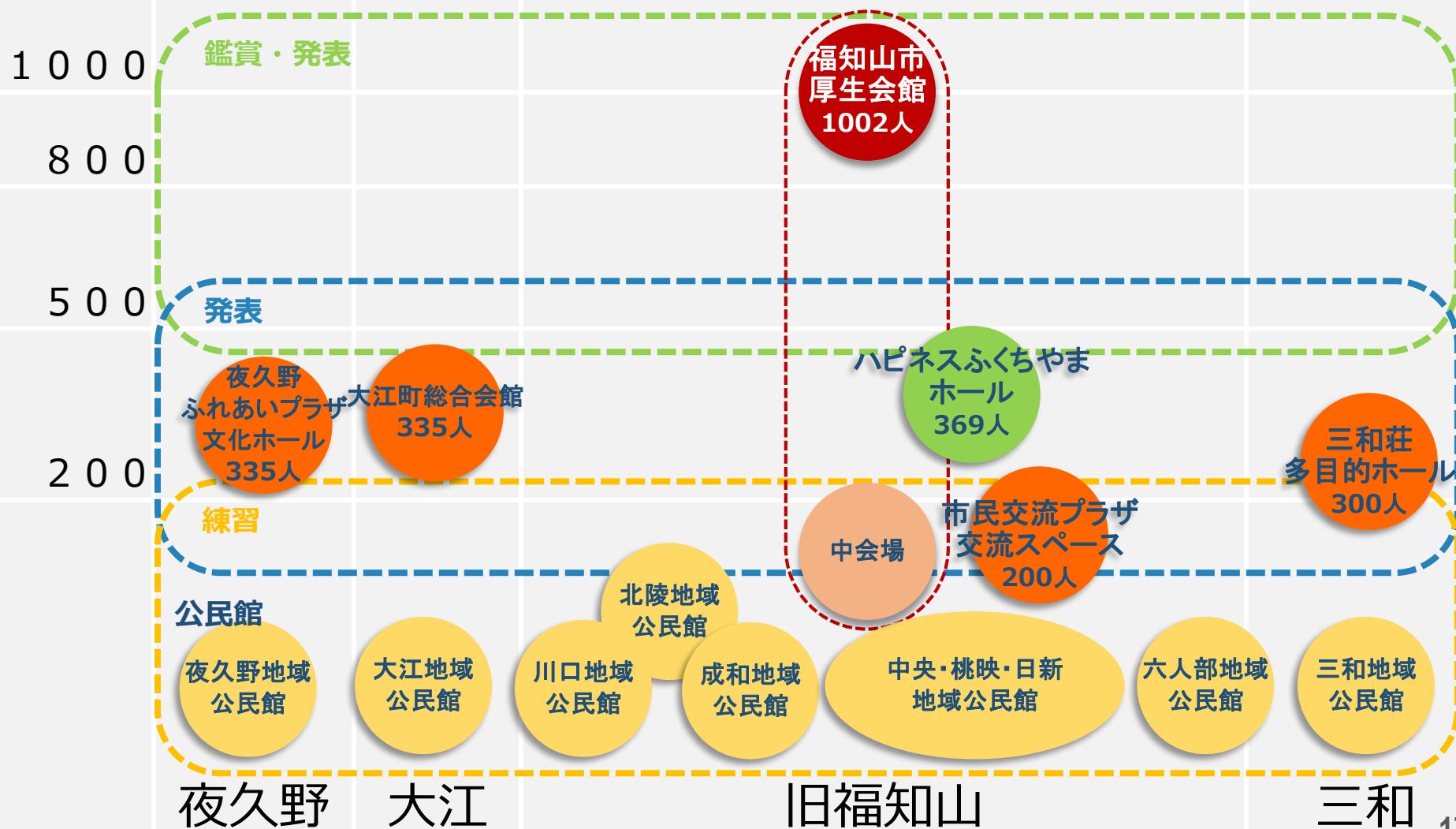
市内の地域公民館 利用状況

施設名		諸室別利用状況(H30年実績データ)								コマ稼働率平均 ※1日3コマ、開館日数のデータがない施設は289日で計算	
中央公民館	諸室	けやきの間	うぐいすの間	調理室	アトリエ	会議室4-1	会議室4-2	合計			
	件数(コマ)	227	295	275	256	547	727			2,327	44.73%
	人数(人)									41,305	
川口地域公民館	諸室	会議室	調理室	和室	図書室	研修室	合計				
	件数(コマ)	30	18	11	23	94				175	4.04%
	人数(人)	235	249	155	165	1,745				2,549	
日新地域公民館	諸室	和室	工作室	会議室	料理室	研修室	図書室	その他	合計		
	件数(コマ)	58	47	185	27	126	244	274		961	13.25%
	人数(人)	895	426	1,688	395	3,983	1,192	3,268		11,847	
北陵地域公民館	諸室	会議室	実習室	共用	研修室1号	研修室2号	研修室共用	調理室	図書室	合計	
	件数(コマ)	3	8	15	4	0	3	6	0	39	1.10%
	人数(人)	61	43	458	56	0	141	51	0	810	
六人部地域公民館	諸室	研修室	会議室	実習室	和室	調理室	図書室	その他	合計		
	件数(コマ)										-
	人数(人)	2,988	1,341	1,031	1,385	280	633	1,194		8,852	
成和地域公民館	諸室	会議室	研修室	和室	調理室	実習室	図書室	合計			
	件数(コマ)									443	8.40%
	人数(人)	3,493	571	1,722	220	0	1,029			7,035	
三和地域公民館	諸室	ホール	会議室	和室	創作室	合計					
	件数(コマ)	273	233	33	205					744	17.27%
	人数(人)	3,821	2,090	278	2,009					8,198	
夜久野地域公民館	諸室	研修室1	研修室2	調理実習室	控室兼会議室	控室兼相談室	和室	文化ホール	合計		
	件数(コマ)										-
	人数(人)							9,856		9,856	
大江地域公民館	諸室	体育ホール	大広間	和室1	和室2	和室共用	調理室	合計			
	件数(コマ)	181	199	15	5	17	47			464	11.17%
	人数(人)	3,562	3,327	120	54	161	657			7,881	
桃映地域公民館	諸室	体育館	合計								
	件数(コマ)	931								931	-
	人数(人)	8,594								8,594	

⇒施設によるばらつきはあるが、公民館は地域の活動の受け皿として機能している

市内文化・交流施設 ポジショニングマップ

- 市内のアマチュア練習・発表の場は市内各所に点在
- 市内の大規模集客の機能は厚生会館が担っている



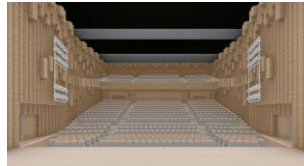
近隣市町ホールの現状



近隣市町ホールの現状

	福知山市 厚生会館	京都府 中丹文化会館	舞鶴市 総合文化会館	朝来市 ジュピターホール	多可町文化会館 バルディホール
特徴	1階部分を平土間利用 可能な多目的ホール 	京都府中部の文化の殿堂施設 	舞鶴市の文化芸術の拠点施設 	朝来市の文化芸術の拠点施設 	多目的に使える平土間 利用可能なホール 
場所	福知山市字中ノ170番地の5	綾部市里町久田21-20	舞鶴市字浜2021	朝来市和田山町玉置877-1	多可郡多可町中区中村町135
敷地面積	2,964㎡	4,050㎡	11,489㎡	9,090㎡	9,944㎡
建築面積	2,170㎡	2,791㎡	4,385㎡	2,724㎡	2,145㎡
延床面積	3,763㎡	3,478㎡	6,923㎡	4,269㎡	2,994㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建	鉄筋コンクリート造2階建	鉄筋コンクリート造2階建、一部5階建	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建	鉄筋コンクリート造、一部3階建
建設年	昭和37年	昭和58年	昭和58年	平成4年	平成2年
ホール形式	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム
客席数	1,002(可動696、固定306)	1,000(固定886、補助108、車椅子6)	1,410	800(固定794、車椅子6)	616(可動席)
舞台	主舞台W17×D8×H6(H11すのこ)	主舞台W17×D14.5×H17(すのこ)	主舞台W17.3×D8×H6(H13すのこ)	主舞台W19×D10×H7(H20すのこ)	主舞台W12×D15×H8.1
管理運営	直営	指定管理	直営(R3.4～)	直営	直営
週休日	無	月	月	無	月・火
開館時間	8:30～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00
施設機能	会議室3、和室1、楽屋3	練習室3	練習室1、会議室1・研修室2 和室1・展示室2、小ホール 350席	研修1、応接1、浴室2 小ホール200席	会議室兼リハーサル室300人
駐車台数	10(会館)、215(福知山P)	300	263	88 300(公園含)	150

近隣市町ホールの現状

	丹波篠山市立 田園交響ホール	養父市立 八鹿文化会館	養父市民交流広場	豊岡市民会館	豊岡市新文化会館 (設計段階)
特徴	多目的にも利用可能な 音楽主目的ホール 	但馬地域の文化拠点 ※閉館 	新しい但馬地域の文化 拠点 	豊岡地域の鑑賞事業の 拠点施設 	
場所	丹波篠山市北新町41	養父市八鹿町八鹿1675	養父市八鹿町八鹿538-1	豊岡市立野町20-34	豊岡市大磯町
敷地面積	6,918㎡	-	28,647㎡	8,000㎡	10,000㎡
建築面積	2,461㎡	1,630㎡	-	2,610㎡	4,700㎡
延床面積	3,117㎡	2,430㎡	4,202㎡	6,464㎡	6,050㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建、 一部3階建	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造2階建	鉄筋コンクリート造4階建	鉄筋コンクリート造3階建、 一部鉄骨造
建設年	昭和63年	昭和49年	令和3年	昭和46年	昭和37年
ホール形式	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム	プロセニウム
客席数	800(移動108、車椅子4)	876(固定872、車椅子4)	651	1,118	780
舞台	主舞台W16.5×D10×H8.6(H18すのこ)	主舞台W17×D13	主舞台 W16.2×D13×H11.5	主舞台W17×D9.3×H7.2	未定
管理運営	直営	直営	直営	直営	未定
週休日	月・火	水	月	火	未定
開館時間	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	未定
施設機能	楽屋 特別応接	楽屋3、リハーサル室 パソコン室、展示室	公民館(大会議室・リハーサル 室・中会議室・小会議室・和室・ 調理室)、図書館	リハーサル室、多目的室 会議室4、和室2・ギャラリー2 その他2	多目的ホール 練習室兼会議室5 創作室兼ギャラリー、和室
駐車台数	23(専用)、350(三の丸西駐 車場有料駐車場)	136(市役所と兼用)	251	120	50

- ・ 近隣市町には500席を超える中規模施設が多数。1000席を超える施設が3つ。
- ・ 全てプロセニウム形式の多目的ホールで客席は段床固定席となっている。
- ・ 大半が市民や教室・学校等の発表会や演奏会、各種集会や講演、式典等に利用されている。
- ・ 規模の大きな施設においては、自主事業で著名なアーティストの演奏会や演劇、各種エンタテインメントのイベント、講演等が行われている。
- ・ 1970年代建築の兵庫県養父市と豊岡市の2施設は建て替えが進められ、養父市は2021（令和3）年に竣工。

客席数および演目による市内及び近隣市町ホールの分類

客席数 分類	200	400	800	1000	1200	1600	2000
	ミニホール	小ホール	中ホール	大ホール			超大ホール
最大視距離 (視覚上の識別度)	非常に細かい表情まで識別可能		細かい表情や細かな動作が識別できる	身振り手振りによる大きな表現が識別できる			演技的な要素の伝達は困難であり、群集の興奮による臨場感が主体
台詞の聴覚上の識別度	ささやきによる伝達可能 演劇的語り言に達可能		歌等による大きな声の発声法が必要			電氣的な拡声を必要とする	
基本となる舞台形式	オープンステージ形式		プロセニウムステージ形式			プロセニウムステージ形式は可能であるがホールが大きくなる程、すべての客席に良好な鑑賞条件を与えることは困難	
ホール空間の 可変能力	技術的な工夫によりアダプタブルステージ形式にできる客席を含めた演出空間全体の可変性可能		プロセニウムステージ形式に利点が多い			集会・コンサートなどへの対応が可能	
客席階数	1階で充分対応できる		1～2階層	2～3階層			3～4階層
利用の性格と 主な催し	先進的で実験的な試みに適する 語り・小演劇 中規模演劇・室内楽		演劇と言葉を伴う ジャンルの上演に適する 一般演劇・ミュージカル	大型バレエ・オペラ・交響曲・歌謡ショー 中規模音楽会 演技を主として音楽的な表現が加わるジャンルの上演に適する			大規模な音楽催事に適する 超大型オペラ・超大交響楽・大型歌謡ショー
	創作オペラ・オペレッタ・室内オペラ モダンバレエ・ダンス・舞踊 ミュージカル 演劇 パフォーマンス 寄席 能 日本舞踊 文楽 室内楽・ソロ ライブ			グランドオペラ 商業演劇 歌舞伎 オーケストラ ポピュラー音楽			
福知山市内 ホール事例	● ハビネスふくちやま (396) ■ 市民交流プラザ (200) ■ 三和荘多目的ホール (300) ■ 夜久野ふれあいプラザ (335) ■ 大江町総合会館 (350)		■ 福知山厚生会館 (1,002)				
近隣市町主要ホール (中規模以上)			○ 丹波市ライブピアいちじま大ホール (500) 1995 ■ 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター (514) 2004 ● 多可町文化会館ベルディホール (616) 1990 ○ 丹波市立春日文化ホール (630) 1988 ● 養父市民交流広場 (651) 2021 ● 豊岡市新文化会館 (780) 2025 ● 朝来市ジュピターホール (800) 1992 ● 丹波篠山市立田園交響ホール (800) 1988 ● 兵庫県立丹波の森公苑ホール (800) 1996? ● 養父市立八鹿文化会館 (876) 1974～2021 ● 京都府中丹文化会館 (1,000) 1983 ● 豊岡市民会館 (1,118) 1971			● 舞鶴市総合文化会館 (1,410) 1983	

プロセニウムステージ：舞台がプロセニウム・アーチという額縁によって囲われている舞台形式。

アダプタブルステージ：使用目的に応じて舞台の形、観客席のスペースを自由に变化できる舞台形式。

●…劇場型多目的ホール、★…音楽専用ホール、■…平土間ホール、▲…伝統芸能主体

3. 市民意見の収集状況 ヒアリング結果（中間報告）

ヒアリングの概要

■ 実施概要

	日時	場所	参加団体・人数
第1回	8月8日 (月)	厚生会館 中会場	12団体
第2回			3団体
第3回			9団体
第4回	8月9日 (火)		11団体
第5回			8団体

計 43団体
61人

N0.	カテゴリー	通知 団体数	参加 団体数
1	文化団体	46	25団体
2	学校 (吹奏楽部等)	9	4団体
3	子育て	2	2団体
4	障害者支援	4	2団体
5	商工観光	5	3団体
6	楽器店	3	2団体
7	地域・ 高齢者団体	4	3団体
8	照明技術者	2	2団体

ヒアリングの概要

■ 設問項目

1. 団体概要
2. 活動状況
 - ①公演・発表
 - ②日常活動
3. 現厚生会館について
 - ①利用頻度
 - ②ホールの使い方
 - ③ホールの良い点・悪い点
 - ④利用しない理由
4. 近隣施設について
 - ①よく利用する施設
 - ②現状市内で不足していると思われる施設・機能
5. 新施設にのぞむこと
6. 福知山市の文化振興にのぞむこと

ヒアリング結果（中間報告）

1. 団体概要（最終報告時に掲載）

2. 活動状況（ホール施設等の利用状況）

（1）文化団体等（文化団体、学校）

○文化公演自主事業実行委員会

プロを招聘したクラシックコンサートを厚生会館ホールで年1回実施している。

○文化協会

旧4市町の文化協会が、厚生会館で年1回文協フェスタを実施し、会員団体が展示・発表会、演奏会を行っている。

○その他文化団体

学校の吹奏楽部を含む文化活動団体の多くが、文協フェスタへの参加を含めて、年1～2回の展示・発表会や演奏会を行っている。

①公演・発表

- 舞台芸術系団体（演奏、合唱等）は、吹奏楽の演奏会で厚生会館が利用されるほかは、厚生会館、ハピネスふくちやま、交流プラザ、ホテルのホールなど様々な施設が利用している。
- 美術系団体（絵画、書道等）は、交流プラザを利用する団体が多く、厚生会館の中小会場も利用している。

ヒアリング結果（中間報告）

②日常活動

- ・ 舞台芸術系団体は、交流プラザ、各地域の公民館（コミセン）、自宅をあげる団体が数団体ずつある。
- ・ 美術系団体は、発表同様、交流プラザを利用する団体が多く、ハピネスふくちやま、福祉会館、各地域の公民館（コミセン）も利用している。

（2）文化団体以外（子育て、障害者支援、商工観光ほか）

①公演・発表／②日常活動

- ・ 子育てや障害者支援、地域・高齢者団体、商工観光団体など、教育福祉・地域活性化等にかかわる様々な団体が、イベントや集会、総会や勉強会、祝賀会等を行うため厚生会館を利用している。
- ・ 子育て団体や老人クラブ、市内楽器店等が文化活動を行い、展示や発表、音楽会等を実施している。
- ・ 音楽や絵画など芸術を通じて子どもたちに発表と学びの場を提供する団体が、年1回厚生会館でプロを招聘したコンサート、毎月交流プラザで多様な活動を実施している。
- ・ 老人クラブ連合会は、総会や研修、作品展などで、それぞれハピネスや福祉会館を利用している。
- ・ 楽器店が、年1回、厚生会館でピアノ発表会やコンサートを実施している。

ヒアリング結果（中間報告）

3. 現厚生会館について

①利用頻度

- 厚生会館を利用する団体は、毎年開催する催事を決まった時期に実施するために年1、2回利用するという回答が多い。
（例：吹奏楽の定期演奏会、地域の文化団体が合同開催する文協フェスタ等）

②ホールの使い方

【展示利用】

- 平土間にして展示会場として利用している。

【音楽利用】

- 1000席のキャパは必要なく、1階のみを利用している。
- 1階の平土間に舞台を広げて、観客は2階のみにいれている。
- 舞台の上は響きが悪いいため、平土間部分で演奏している。

【その他】

- 1階の前方のみ撤去するなど、柔軟な使い方をしている。

ヒアリング結果（中間報告）

③ホールの良い点・悪い点

【良い点】

- ・ 立地が良い（駅からのアクセスが良い、人が集まりやすい）。
- ・ 市民にとってなじみがある、「厚生会館」という特別なイメージがある。
- ・ 平土間の一部をステージとして利用できる（子育て）。
- ・ 客席と舞台が近く演奏しやすい。

【悪い点】

- ・ 音響が良くない。
- ・ 平土間のためパイプ椅子後方の席から舞台が見づらい。
- ・ パイプ椅子に長時間座り続けるのはつらい。
- ・ パイプ椅子の設営撤去が大変である。
- ・ 舞台の舞台裏が狭く、舞台設備が整っていない。
- ・ 公演に適したつくりになっていないため、中丹地域で持ち回りするイベントを福知山市内では実施できない。
- ・ 平日の大規模行事の場合、駐車場が不足する。

④利用しない理由

- ・ 音響が悪い。
- ・ 音響、照明等の舞台技術の人員を手配するための費用がかかる。
- ・ キヤパが大きすぎる。
- ・ 料金が高い。
- ・ 駐車場が不足するため。グンゼの駐車場を借りるとしても土日しか借りられず、警備員の配置、借りるための費用もかかる。

ヒアリング結果（中間報告）

4. 近隣施設について

①よく利用する施設

利用される施設（市内）	利用目的	主な利用団体
市民交流プラザ	公演・発表（6団体） 日常活動（13団体）	文化団体等 文化団体等 文化団体以外
ハピネスふくちやま	公演・発表（3団体） 日常活動（3団体）	文化団体等 文化団体以外
人権ふれあいセンター 堀会館	日常活動（1団体）	文化団体等
総合福祉会館	公演・発表（1団体） 日常活動（1団体）	文化団体以外 文化団体以外
地域コミュニティセンター	日常活動（4団体）	文化団体等
武道館	公演・発表（1団体）	文化団体以外
大江町総合会館	公演・発表（1団体）	文化団体等
三和荘	公演・発表（1団体）	文化団体等
民間施設	公演・発表（2団体）	文化団体等

- ・ 交流プラザの利用が最も多く、公演・発表、日常活動ともに利用は活発である。
- ・ 日常活動として各地域のコミセンを利用している。
- ・ 施設の選定理由としては、「**アクセスの良さ**」「**施設の広さが適している**」「**駐車場が十分にあること**」などが挙げられている。

ヒアリング結果（中間報告）

利用される施設（市外）	利用目的	主な利用団体
中丹文化会館	発表（3団体）	文化団体等
綾部市農業振興センター	発表（1団体）	文化団体等
丹波市春日文化ホール	発表（1団体）	文化団体等
綾部アリーナ	発表（1団体）	文化団体等

- ・ 市外施設を利用する団体は、文化団体がほとんどである。
- ・ 市外施設を利用する複数の団体からは、厚生会館と同規模である、施設が比較的綺麗で駐車場が十分にあり、コンサートに適した音響等の環境が整っていることから、中丹文化会館を利用するという意見がある。

②現状市内で不足していると思われる施設・機能

- ・ 朝来市、豊岡市、綾部等と比べると、環境が整った施設は不足している。
- ・ 活動団体の拠点となる場、活動で使用する物品を置く場所が不足している。

ヒアリング結果（中間報告）

5. 新施設にのぞむこと

【ソフト面】

- **運営** : 市民の声が反映される運営、舞台スタッフを常駐で配置して欲しい。
- **施設予約** : 市民交流プラザは先着予約の際に朝から並ばなければいけないのは不便である。分かりやすい仕組みにして欲しい。
- **使用料** : 減免制度を設けて欲しい。準備日は安くして欲しい。

【ハード面】

- **立地** : **現地**（駐車場が不足する問題を解決して欲しい）
⇒町の中心地、活動団体が集まりやすい、
施設でのにぎわいが商店街へも広がって欲しい。

三段池公園

⇒現地は水害の危険性を回避できない。駐車場が十分に確保できる。
シャトルバスを出せばよい。

- **座席数** : 600～800席。1,000席。厚生会館と同等かそれ以上欲しい。
- **ステージ** : 袖を広くしてほしい。吹奏楽が十分にできる広さが欲しい。
- **設備環境** : 段床のある可動客席。使いやすい搬入口。バリアフリー。

6. 福知山市の文化振興にのぞむこと・ 新文化ホールの位置づけ

- 本格的な舞台芸術を鑑賞できるホールに。
- 若い人たちに文化を届けられる施設に。
- 子どもたちが舞台に立つことを誇りに思える施設を。
- 文化振興のシンボルに。
- 多くの人が利用しやすい施設を。
- 日常的に人が集まり、にぎわう施設を。
- 多くの方に愛され、親しまれるホールに。
- 誰もが利用しやすい施設を。
- 地方の公共ホールの成功事例を参考に。

4. 市民意見の収集状況

Webアンケート（設問の紹介）

Webアンケートの概要

1. 実施期間 令和4年8月17日（水）～9月30日（金）
2. 実施方法 市HP、市LINE、市Twitter、設問票配布
3. 主な設問項目

(1)鑑賞について

- ①劇場・ホールへの来訪頻度 ⇒鑑賞しない方は⑤へ
- ②主な鑑賞ジャンル ③公演鑑賞で訪れる施設
- ④③で訪れる理由 ⑤鑑賞をしない理由

(2)文化芸術活動について ⇒活動を行っていない方は④へ

- ①活動を行う目的 ②市内でよく利用する場所
- ③②でよく利用する理由 ④文化芸術活動を行わない理由

(3)厚生会館について ⇒来訪していない方は⑥へ

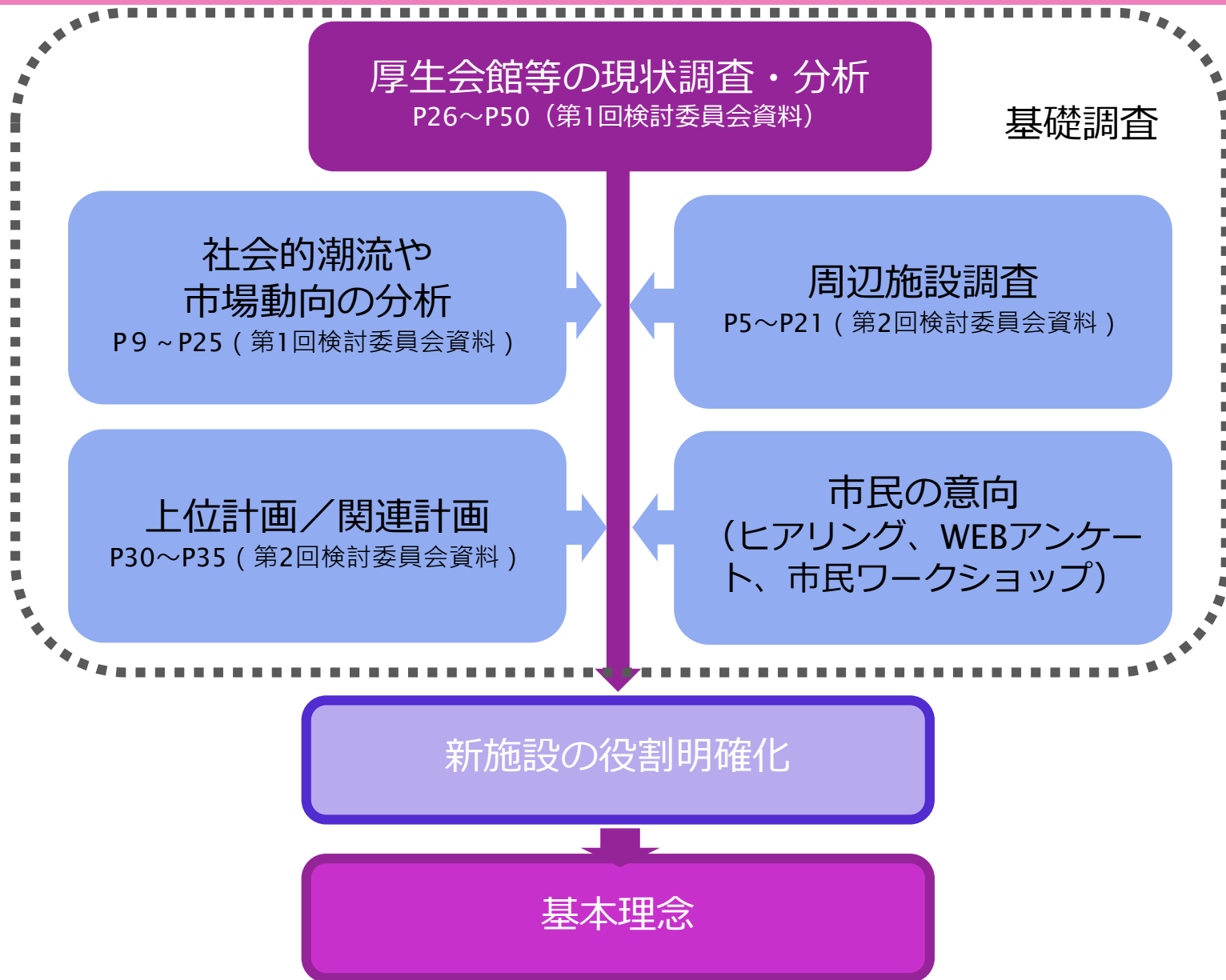
- ①来訪目的 ②鑑賞したジャンル
- ③厚生会館の魅力 ④満足度
- ⑤満足していない理由 ⑥来訪しない理由

(4)新文化ホールに期待することや要望

- ①望ましいホール規模 ②充実を期待する事業
- ③ホールに必要な用途 ④ホール以外に必要な用途
- ⑤立地環境

5. 新文化ホールの役割（案）

新文化ホールの基本理念



国の文化／芸術関連施策

「文化芸術基本法」平成29年6月施行

国の文化芸術政策の指針を定めた法律。平成13(2001)年12月に制定された文化芸術振興基本法の改正という形で、平成29(2017)年6月に制定された。

文化芸術に関する活動を行うものの自主的な活動の促進を旨として、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、**心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与**することを目的としている。

文化芸術の推進にあたっては、**文化芸術の固有の意義と価値を尊重**しつつ、文化芸術そのものの振興にとどまらず、**観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策との有機的な連携**を図ることなどが定められている。

「劇場、音楽堂などの活性化に関する法律」平成24年6月施行

さらに現代社会においては、**劇場、音楽堂等は**、人々の共感と参加を得ることにより「**新しい広場**」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されている。

また、劇場、音楽堂等は、国際化が進む中では、国際文化交流の円滑化を図り、国際社会の発展に寄与する「**世界への窓**」にもなることが望まれる。このように、劇場、音楽堂等は、国民の生活においていわば**公共財**ともいうべき存在である。

国の文化／芸術関連施策

「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」

劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承、創造、発信する場であるとともに、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点である。

また、個人を取り巻く社会的状況等にかかわらず、全ての国民が、潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を実現するための場であるとともに、**社会参加の機会を開く社会包摂の機能を有する基盤として、常に活力ある社会を構築するための大きな役割を担っている。**

さらに、劇場、音楽堂等は、地域コミュニティの創造と再生を通じて地域の発展を支える機能や、国際文化交流の円滑化を図り国際社会の発展に寄与する役割も期待されている。

市の計画（文化・まちづくり等）

「まちづくり構想 福知山」令和4年3月施行

今後の社会状況や住民生活を想定し、その世代の生き方や思いを通して、人々が幸せに生きるための将来像をまとめ、そこから翻ってこれからのまちづくりの方向性を定めている。

2040年に向けてめざす福知山市の将来像 **市民が「幸せを生きる」まちへ**

- ・ ほどよい距離感でさりげない支え合いに幸福を感じるまち
- ・ 多様性や個性を尊重し、自分なりに歩めるなかに幸福を見いだすまち
- ・ いつでも前向きに、お互いを高め合うことで幸福を呼びこむまち
- ・ チャレンジ精神にあふれ、努力と創意工夫を重ねて幸福をつなげるまち

（基本政策5）市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

政策目標5-1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり

施策② 生活の質を高める文化・芸術活動の振興

課題 : **生きがいづくり**、文化芸術活動の**発表・鑑賞の機会の確保**、利用予約の**利便性向上**、文化振興の担い手となる**組織・施設の充実**、**文化交流を通じた広域連携**の展開

対応の方向 : 子どもを含む多くの市民による**文化・芸術活動の振興**、地域の伝統や資源に端を発する**新たな文化的なコンテンツの創出**

市の計画（文化・まちづくり等）

「文化振興基本方針」平成31年3月施行

市の文化振興施策全体の指針として、目指す将来像や基本目標、取組の方向性を定めている。

文化振興の現状と課題

現状

1. 市の文化的環境への満足度が低く、文化振興への評価が低い
2. 文化施設のソフト・ハード面へのニーズが高く、満足度が低い
3. 本市の歴史文化的資源について十分に知られておらず、地域の愛着や誇りにつながるものとしての意識が弱い

課題

- ①文化活動の活性化と地域の魅力の発信
- ②文化振興の担い手となる組織・施設の充実
- ③まちづくりの核となるシビック・プライドの醸成

基本目標

知る・見る・感じる機会を提供し、それらに付加価値をつけた活用により、**新たな魅力を創出**することが重要。これらの活動を通して**地域の活性化、地域への誇りや愛着を育み**、地方創成に取組の核となることを目指す。

基本方針

- 1 文化の力を活用し、文化で賑わいと魅力あるまちづくりを目指します
- 2 市民が文化に触れる環境を整備し、文化の振興を目指します

市の計画（文化・まちづくり等）

「文化振興基本方針」施策の中で示されている新文化ホールの方向性

基本施策1 文化への関心を高める 取組

取組① 子どもの感性を高める取組

- 学校での総合学習や郷土学習、文化鑑賞等を通じ、地域の文化や多様な芸術に触れる機会をつくれます。
- 子どもが取り組んだ美術作品等の展覧会を開催し、子どもの自主的な文化活動の動機付けにつなげます。

取組② 鑑賞・体験の機会の充実

- ホール機能を有した施設等を活用し、舞台芸術等を鑑賞する機会づくりに、市民と連携して取り組みます。

基本施策2 市民の自主的な文化活動への支援

取組③ 文化活動・発表・創作・交流の場の提供

- 文化団体・文化活動グループ等と連携して、市民の文化活動の成果を発表できる機会の確保に取り組みます。

取組⑤ 芸術家・専門家と市民の交流促進

- 文化施設における講演会やギャラリートーク等、市民が芸術家や専門家から学んだり、相互に交流したりできる機会を提供します。

市の計画（文化・まちづくり等）

「文化振興基本方針」施策の中で示されている新文化ホールの方向性

基本施策5 文化活動の基盤となる施設

取組⑪ 施設の整備

- 将来の人口動態、文化活動のニーズ、市の将来像等を考慮し、計画的に整備改修を行います。
- 市民が気軽に文化に接し、参加できるような施設づくりを目指します。
- 施設の整備にあたっては、民間活力を利用した整備を検討します。
- 老朽化している他の施設との効果的な機能集約も図るなかで、**文化活動の核となる文化ホール**について、新たな建設も含め検討します。

取組⑫ 施設の管理運営

- 直営、指定管理等運営主体については、施設の性格、利便性、経済性等を考慮の上、最適な主体を検討します。
- 施設管理者は、**利用者の利便性、魅力ある催し物や活動、安全性が確保できる施設の運営**を図ります。
- 施設の運営にあたっては、民間の活力を利用した運営を検討します。
- 各施設の連携や近隣他市町との連携**を図り、効率的な施設運営を図ります。

市民の意向

新文化ホールへの市民の意向

ヒアリング

(集計中)

市民ワークショップ

⇒今後結果を反映します。

WEBアンケート

⇒今後結果を反映します。

基礎調査のまとめ（未定稿）

厚生会館の現状と課題

- ・市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与することを目的として1962年に開館(条例より)
- ・利用傾向:大ホールは音楽会等の鑑賞、集会利用、毎年開催される展示会等が大半
稼働率(日)は約35%程度であり、全国平均(50%程度)と比較して下回っている
その他諸室は規模の小さい会議利用が中心で、展示利用も一定の利用がある(利用状況調査より)
- ・利用主体:行政利用が最も多く、行事等で利用する学校や一般の利用団体も定期的に利用する団体が多く、
利用者が一部の団体に限定されてしまっている(利用状況調査より)
- ・施設課題:舞台の袖が狭く搬出入が不便、バックヤードに大型トラックの搬入口がない、吊物用ボタンが少なく電動化されていない、2階に車いす用の座席スペースがなく通路で対応している、1階客席がパイプ椅子のため長時間の鑑賞が困難、楽屋に鏡などの基本的装備がない、会場の防音性能が低い、会場に駐車スペースがない、施設備品の故障や不足、屋上からの漏水により舞台袖内にも水受けの設置が常態化、バリアフリー環境の不足

国の文化/芸術関連政策

- ・文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策との有機的な連携を図る
- ・劇場は地域の発展を支える「新しい広場」
- ・「世界への窓」にもなる公共財
- ・社会包摂機能の基盤

市内外の類似施設の状況

- ・市内では厚生会館を除くと大半が小規模な平土間ホールであり、本格的な芸術鑑賞には物足りない
- ・文化芸術に加え展示等の集客利用が多い
- ・近隣市には、中規模以上の多目的ホールが多数
固定席で鑑賞条件に優れ、市民や学校等の発表会のほか、著名アーティスト等の公演も行われる

市の計画(まちづくり・文化等)

- ・市民が「幸せに生きる」まち(まちづくり構想 福知山)
- ・多くの市民による文化・芸術活動の振興
- ・知る・見る・感じる機会を提供し、新たな魅力を創出(文化振興基本方針)

新文化ホールへの市民の意向

※結果集約後掲載

新文化ホールの役割（案）

（１）文化芸術鑑賞機会の充実

良質な文化芸術鑑賞が可能な場を整備し、本格的な文化芸術鑑賞の機会を提供する。

（２）次世代の活動支援・人材の育成

これからの福知山市の文化振興の担い手となる子どもたちや若い世代の活動を支援し、人材育成に寄与する。

（３）市民の文化活動・交流拠点の創出

市民の文化芸術活動の場を創出することにより、市民が気軽に文化活動に触れ、文化活動を通じた市民の交流を深める拠点となる。

（４）日常的なにぎわいの創出

特別なイベントがある日だけに人が集まる施設ではなく、だれもが特に目的がなくても立ち寄り、日常的に賑わう市民の居場所となる。

（５）福知山の地域資源を活かした新たな魅力の創造

豊富な歴史資源や地域に息づく伝統を活かし、福知山ならではの新たな文化活動・新たな魅力を創造し、文化による地域の活性化を図る。

（６）まちづくりへの寄与

観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、派生する分野とも連携し、市民が「幸せを生きる」まちづくりに寄与する。